

道標がある
 だけだ。次
 の1270
 以圏の小コ
 ブから、東
 に派生する
 峠ノ尾根に
 入る。これ
 まで濃かつ
 たササは薄
 くなり、前
 方に武甲
 山、小持
 山、大持山
 などを眺
 め、左前方
 にはバラモ
 尾根の送電
 鉄塔が垣間
 見られる。
 天気は上々
 で、この高



峠ノ尾根を下る

さまで下りると日差しはとうに春である。右に小さな植林が現れ(1070以)、まもなく右が伐採地になる。長沼背稜の北面が一望でき、大平山から大ネト尾根、ニツドツケからシヤクナン尾根、仙三峠から仙三尾根が左下に高度を落としている。

その先は北でなく、東に急下降り、右が植林、左が雑木の間を進む。地形が広がっているので要注意である。800以を切ると、尾根ではなく右の巻き道をたどればよい。新秩父線61号鉄塔を過ぎ、巡視路は尾根の右寄りに付いている。細久保集落跡からの山道(途中は荒れている)を合わせた所に「大平山方面 細久保集落」と「新秩父線61号に至る」のプレートがある(600以)。

尾根を100以進むと地蔵峠に出る。赤い服のお地蔵様のほか、石祠、二十三夜塔、「細久保・地蔵峠ハイキングコース」、「新秩父線60、61号に至る」のプレートがある。左は斜面を巻いて金倉橋に出るルートであるが、右前方の山道で溪流荘バス停に下りるのが、道もよく時間的にも早い。大岩の角で往路にぶつかり、そこには61号のポールがある。往路を戻って溪流荘バス停に出る。(08年3月下旬歩く)

補記

08年4月から、浦山大日堂行きバスの発車時刻が変わり、午前の便は、西武秩父駅入口発が10時26分発になった。問い合わせ先は秩父市役所(0494-22-2211)。

《コースタイム》

西武秩父駅 5分 西武秩父駅入口(バス25分) 溪流荘前 1時間 一俣 1時間30分 福寿草自生地 40分 1315以点(天ドツケ) 1時間10分 地蔵峠 15分 溪流荘(バス) 西武秩父駅入口 5分 西武秩父駅

新ルートで天空の別天地へ

88 黒平 升形山 黒富士

☆

《地図》 甲府(20万) 茅ヶ岳(2万5千)

『甲斐國志』には「大乃岡山ハ鬼嶺山ノ南ニ存リ相競テ峻拔ス中間ニ徑アリ御嶽ヨリ江草へ通ス北ハ黒富士、升形山ナリ」と、升形山が黒富士と並んで紹介され、ともに江戸時代からその存在は知られていた。黒富士、升形山とも、第四紀洪積世の火山活動によって形成された黒富士火山帯に属し、いずれも縦走路からわずかに外れた所にそびえる、天空に突き出た別天地である。黒平町は甲府市最北部の標高1000以から1200以の高地にあり、御岳昇仙峡と金峰山のほぼ中間地点に位置する。武田家の祈願所であつた金櫻神社が近くにあるが、そもそも黒平町が金櫻神社の神領であり、この神社は5月上旬に黄金色の花を咲かせる鬱金桜でも有名である。

甲府市マウンテンピア黒平は黒平町にあり、緑あふれる山々に囲まれ、四季を通して自然の息づかいを全身で感じられる滞在型のリゾート施設である。マウンテンピア黒平を起点にして、天空に突き上げる別天地の升形山と山梨百名山の黒富士を周回した。

甲府駅からタクシーを走らせ、御岳昇仙峡を過ぎて荒川ダム方向に右折して野猿谷林道を行き、御岳林道を左折すればマウンテンピア黒平の駐車場に着く。道中には、御岳昇仙峡、金櫻神社のほかにも、樹齢千年を超えるクスギが御神体で縁結びや子宝に靈験があるとされる夫婦木神社、激流に滝を掛ける板敷溪谷、野猿が棲息する野猿谷、黒富士の火山活動でできた燕岩脈(国の天然記念物)など見所も多い。

マウンテンピア黒平には、鳥名が付いた10のコテージ、レスト

ラン、売店などの施設がある。トイ棟と炊事棟を見送り、コテージ内道路が左に曲がる角に「黒富士入口」の丸看板があり、ここから登山道に入る。石堂沢(高谷沢)を渡り返して右岸を行



黒富士峠からハケ岳